奥出雲町ら 考えて い景観」を みません

がたくさんあって水がきれいがたくさんあって水がきれいがたくさんあって水がきれいた。

観について三人の専門家が講演 景観まちづくり塾

目的としたワー て この計画策定に向け、 奥出雲町景観計 奥出雲町らし クショッ プと学習講演会が行われました。 の策定を進めています。 住民の皆さんの意識啓発などを く美しく 豊かな景観形成に向け

の発見を聴いたりし、自分が地域を歩いたり、他の参加者参加者は、自分たちの足で

が参加しました。
一ハウスで開かれ、約五十人が九月二十一日、横田セミナ招いた「景観まちづくり塾」三人の学識経験者を講師に

る意識啓発を図っていきます。ポジウムを開き、景観に対す講予定で、来年一月にはシンまた、同塾は十一月にも開

暮らす地域を見つめ直す良いの発見を聴いたりし、自分が

講師は、

^{長で造形作家の小林}島根デザイン専門

機会となりまし

わがとこワークショップ の景観を再発見

大市・角地区で、十月二日に九月十日に郡地区、六日市・その特徴を知ってもらおうと、歩き、景観資源を探しながら の特徴を知ってもらおうと、き、景観資源を探しながらき、景観資源を探しながら

いました。 「景観探し」を行いました。 「景観探し」を行いた後、自分たちの暮らす地けた後、自分たちの暮らす地けた後、自分たちの暮らすっぱを歩き、「景観についての説明を受いました。 るNPO法人まつえ企画のコーディネーな PO法人まつえ・まちづのコー ディネーター であークショップでは、この

約二・四*』を歩きました。 角の伊賀多気神社を経由するから大市本町通り、六日市、カメラを片手に、出雲横田駅

まとめたものをグループごと

メラを片手に、出雲横田B六日市・大市・角地区では、



街並みを観察しながら歩く参加者

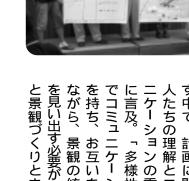
書き込み



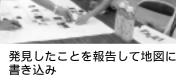
ながら、 がら、 ユニケーション 「多様性の中ションの重要性

の路地が素敵だった」たな発見があり、参加者

の路地が素敵だった」「水路たな発見があり、参加者は「裏う景色でも、歩いて見ると新普段は車で通り過ぎてしま



会場の様子・講演を熱心に聴く参加者













ニケーションの重要性 大たちの理解とコミュ 大たちの理解とコミュ 景観づくりについて話 でれの専門的見地から でれの講師は、それ

出す必要がある」 景観の統一感お互いを認め

三日目の農業体験では、グループに分かれ 三日目の農業体験では、グループに分かれ 明西そば体験道場でそば打ち体験などをして、 別、日刀保たたらやたたら製鉄の遺構の見学、 り、日刀保たたらやたたら製鉄の遺構の見学、 した。 は本験道場でそば打ち体験などをして、 がれた学生は、町内の伝承農家を訪問した は、町内の伝承農家を訪問した は、町内の伝承農家を訪問した

出雲国風土記縁の地を巡る

~ 奥出雲ガイド養成講座 ~

で第七回となる「十月二日、今」 ました。

今

県立大短大生「地域探検学」

町内でフ

1

果を発揮しようと懸命に戦っていました。者からの応援を受けながら、日頃の稽古の成参加した剣士たちは、チームメイトや保護

命に作業に取り組んでい 慣れない 作業に、

識を学び

ま

を流しました。

悪戦苦闘.

しながらも、

ました。

会

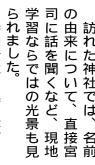
果(各部門第

位

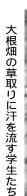
敬称略)

・ツ少年団Aツ少年団A

野菜の出荷作業や畑の除草作業などに汗1日目の農業体験では、グループに分かれ1雲の様々な文化について学びました。



い肌方ら地は学通間学 までをしば学ので活って もしばででいまでではいた。 で、き暮い、 で、また



聴く参加者仰支斯里神社で藤岡氏(左)からの説明

高校・一般の部 中学生女子の部 中学生女子の部 布勢体協A横田中学校A横田中学校A 石 松 三 足 松 高 属 虽 田 崎 澤 立 﨑 橋 誉 報 野 子 汰 樹 夏 汰 樹 夏 太 康 瑞 汰 樹

11 広報 奥出雲